

令和2年度 日之影町立日之影中学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
 4:期待以上、 3:期待どおり、 2:やや期待を下回る、 1:改善が必要
 ○「評価者」…「第一次」:学校による自己評価、「第二次」:保護者評価、「第三次」:教育懇話会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第一次	第二次	第三次
学力向上	ア 学力向上の基盤となる、子どもたちの「学びに向かう力」や「進路実現への意欲」を向上させるような教育を推進する。	きめ細かな進路指導や地域と協働するキャリア教育を推進し、将来の生き方を考えさせながら学びに向かう力を高める取組を行った。次年度以降も、実態に応じた内容へと拡充していく必要がある。	4	3	4
	イ 生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導・支援に努め、基礎的な学力の定着を図る。	数学では全学年習熟度別少人数授業に取り組んだ。日本語の補助が必要な生徒には、個別指導を行ったり、テストにルビを振ったりしてきめ細かく対応することができた。今後も更なる取組が必要である。	3	3	3
	ウ 生徒の思考力や表現力を高めるための指導方法の工夫・改善に努める。	全職員で「思考ツール」を使った授業研究に取り組んだ。生徒達が思考を整理し堂々と発表する姿を多く見られたことは、大きな成果であったと考える。今後も、更なる工夫と拡充に努める必要がある。	4	3	4
	エ NIE(新聞活用)や読書活動、資料活用などを推進し、「読解力向上」につながる教育を充実させる。	NIEコーナーの設置や読書活動及び図書館の整備、新聞活用など多くの取組を推進してきた。読解力の向上に関しては、今後も、継続して取組を工夫していく必要がある。	3	3	4
生徒指導・心の教育	オ 道徳教育や人権教育の充実に努め、ふるさとを大切に、他人への思いやりにあふれた心を育む。	思考ツールを活用した考える道徳や地域と協働する学習に取り組んだ結果、各行事の感想などから郷土への愛着を深めた生徒が増えた。今後も取組を継続していきたい。	3	3	3
	カ 生徒一人一人に寄り添った支援や声かけ、教育相談などに努めながら、生徒の自尊感情を高める。	生徒一人一人の変容を見逃さないために、全職員による生徒理解の時間を毎週も受けた。情報を共有したことにより、生徒一人一人に応じた声かけが多くできるようになった。今後も全職員による取組を継続していきたい。	4	3	3
	キ 各行事や学習活動における生徒の活躍の場や活動の支援充実により、生徒が何事にも主体的に取り組もうとする力を高める。	主体的に新しいことに挑戦する場を与えたことで、体育大会では生徒が競技前に意気込みをマイクで堂々と語ったり、生徒会立会演説会ではプレゼンテーションやホワイトボードを使い自分の考えを訴えたりするなど、主体的に活動する生徒が増えてきた。	4	3	4
体力向上・安全指導	ク 授業や体育的行事、部活動などの充実に努め、子どもたちの心身の健康や体力を向上させる。	コロナ感染予防に取組ながら、7月の中体連では、陸上部、女子テニス部地区大会優勝。9月の中体連では野球部、陸上部が地区優勝するなど、一定の成果を上げた。	4	3	4
	ケ 校内指導の充実の他、保健関係の通信や連絡によって家庭との連携を強め、健康安全や食育への意識を高める。	保健指導については、外部講師を招くなど多くの活動に取り組んだ。特に、12月の弁当の日については、保護者と連携した取組を行うことができ、食育への関心を高めることにつながった。	4	3	3
家庭・地域の連携	コ 地域との協働によるキャリア教育を充実させ、子どもたちに郷土愛や将来における自己実現への意欲を高める。	ひのかけ近未来会議や職場学習、校内ハローワーク、ヒノカフェなど、地域との協働によるキャリア教育を推進している。次年度以降もこれを発展的に継続していく必要がある。	4	3	4
	カ 学校だよりやホームページ等を活用した学校教育の情報発信に努め、学校の教育に対する地域やPTAの理解を促進する。	校長通信やホームページの内容拡充、学級通信等による情報発信に努めた。また、PTA活動の効率的運営にも取り組んだ。今後も、保護者や地域への情報発信に努めていきたい。	4	3	4